

# 第1学年 英会話科学習指導案

平成29年11月9日（木）

## 1 単元名 好きな動物はなに？／What animal do you like?

### 2 単元について

#### (1) 児童の実態

本学年の児童は、明るく元気な子が多い。初めて学習することへの興味、関心が高く、何事にも積極的に取り組んでいる。学習中は、自分の意見を挙手して発表したり、友達の意見を最後まで聞いたりできるようになってきた。英会話については、E-タイムやE-タイムLにおいて、元気に挨拶し、スタートソングを歌っている。学年内交流、異学年交流では、クラスの友達だけでなく他のクラスの友達や6年生と会話することを楽しむことができた。スキットの会話練習だけでなく、身体表現をしながら歌ったり、踊ったりできること、ゲームを通して友達やALTと英語で話せることがうれしいようだ。はじめて英語に触れる児童も聞こえたままの英語をまねて、英語のリズムやアクセントに自然と慣れ親しんでいる。児童にとって生活の中で使える身近なものを題材として、さらに英語に対する意欲を高めていきたい。

E-タイムを行う4組は、英語の授業に楽しんで取り組んでおり、9割の児童が外国人に会ったとき英語を使いたいとアンケートで答えている。日常の手紙の受け渡しでも“Here you are.”“You are welcome.”という言葉が自然と出てきており、英語を好きな児童が多い。一方で、英語をあまり好きではない児童に理由を聞くと、「長くしゃべられると、英語の意味が分からない。」ということだった。そのため、今回のE-タイムでは、児童がジェスチャーや絵を手がかりに英語の意味を類推しながら聞けるようにすることと、児童の頑張りを積極的に褒めることで、意欲的に活動に取り組ませたい。

E-タイムLを行う〇組では、ほぼ全員英語が好きである。普段の生活の中でも“Thank you.”や“See you.”“You are welcome.”“Good.”など自然な形で友達との会話に英語が使われる場面が見られるようになった。学校で習った英語は家でも使ったり、家の人に聞かせたりする児童もいる。習うと使ってみたくなるようで、英語を使って会話することを心から楽しんでいる様子が見える。E-タイムの時間は週のめあてのもと、DVDのALTの会話を聞き、聞こえたままをまねて声に出してリピートを楽しんでいる。くり返し聞いて練習することで、自信が付き、友達との会話につながっている。E-タイムLの時間は、ゲームの中で英語を話すことが楽しいようである。ジェスチャーを交え、相手に分かりやすく伝えようとする姿や互いに教え合う姿も見られるようになってきた。そこで、E-タイムでインプットした会話をつなげるために、国語や図工、生活で学習してきた動物をテーマとする本の読み聞かせからゲームを組み立て、主体的に取り組めるようにしたい。また、E-タイム、E-タイムLの時間は楽しいけど、自分から英語を話すのは、「自信がないから」「よく言えないから」と感じる児童も数名いるので、メインゲームを簡単で分かりやすいゲーム内容にしたり、活動の流れにつながりをもたせたりすることで、英語を使いたい、進んで話したいという意欲を高めていきたい。

<図1省略>

#### (2) 本単元の意図

児童はこれまでに「あいさつをしよう」「きょうの天気は?」「数えよう」「いまなんじ?」「買い物」など、主に日常生活に必要な表現を学習してきた。ジェスチャーをつけたり、リピートしたり、耳から聞いたままの英語をそのまままねて発音できたことに喜びを感じながら活動に取り組んでいた。

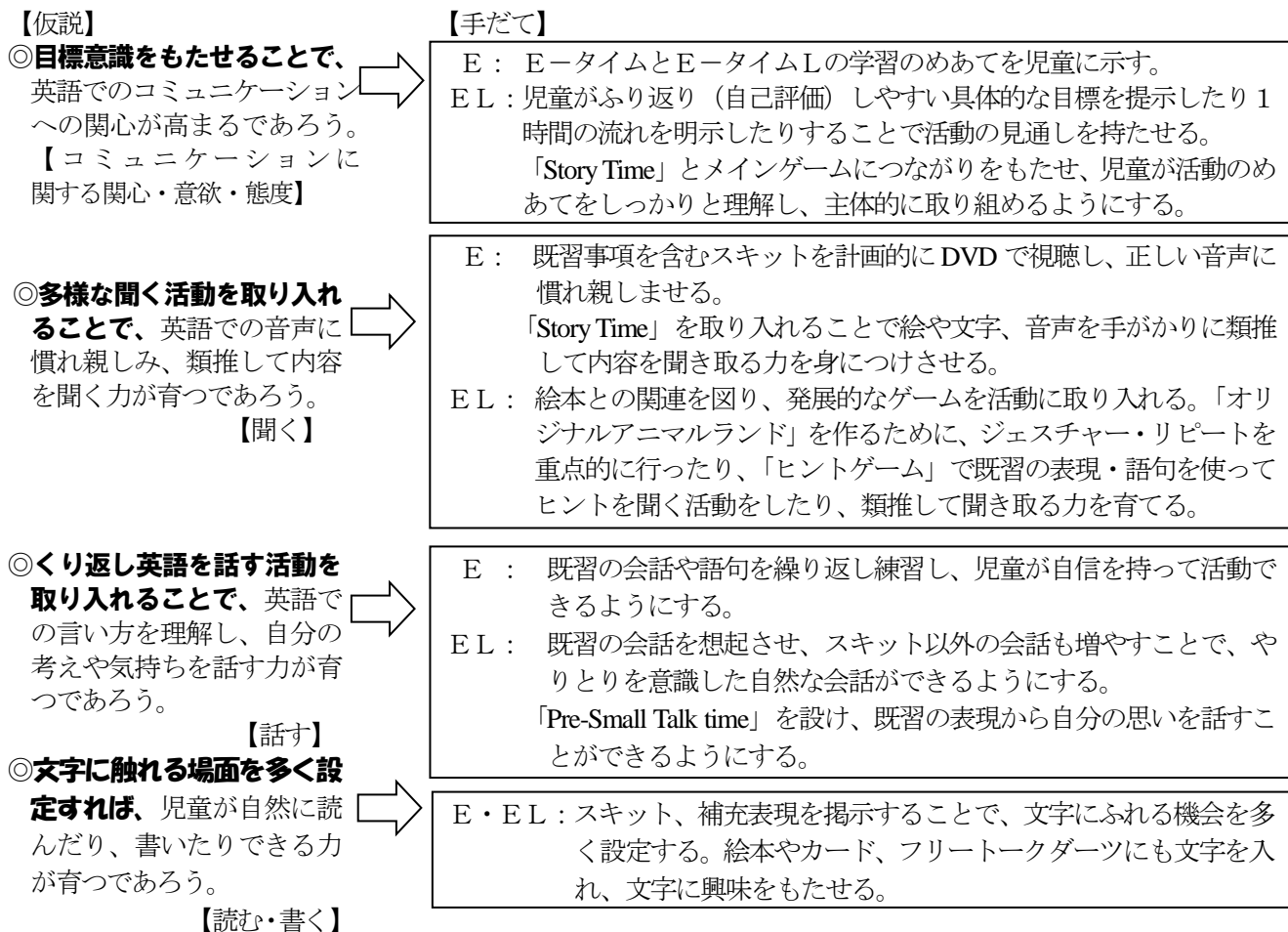
本単元は好きな動物を尋ねたり、応えたりすることでオリジナルアニマルランドを作る活動をメインゲームとした。動物は児童にとって身近な存在である。図工では「どうぶつむらのピクニック」、国語では「動物の赤ちゃん」を学習し、興味、関心が高まった。また「おおきなかぶ」「はなのみち」「ゆうやけ」など、動物を主人公とした物語も学習し、動物に自分を同化して気持ちを考えた。ジャイアントパンダの赤ちゃんの誕生など、タイムリーな題材でもある。本時では、さらに興味関心をもたせるためにStory Timeからメインゲームに広げていく。Story Timeによるくり返しのインプットで本の世界に入り込ませたい。動物に同化し“What animal do you like?”の質問にI like ○○.と自然と応えることができるようになると思われる。

メインゲームは、児童が事前に考えた「○○アニマルランド」に動物を配置していく活動である。自分の思いに沿って動物を集めるために、より多くの友達との会話が期待できる。さらに既習の「数」を加えることで自分のアニマルランドへの思いも広がり、より楽しく活動に没頭できると考えた。メインゲームの後には、自分が考えたオリジナルアニマルランドを友達に紹介し合う時間、Pre-Small Talk timeを設けた。児童は自信を持って“What animal do you like?”の質問に“I like ~.”“It’s smile animal land.”と自分の思いを伝えることができるだろう。その思いに応えるためにふさわしい形容詞「Nice」「Cute」「Good」「Great」とほめ言葉を伝えることで友達のよさ、自分のよさに気づき、活動をあたためる時

間とする。そして第2時の“What animal do you like?”の話型を広げ、既習の会話を取り入れる活動から、友達にいろいろなことを尋ねる Pre-Small Talk につなげていきたい。Pre-Small Talk は、自分が話したいことをしっかり伝える場としていきたい。

### 3 研究主題との関連

研究主題 『積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成』  
～4技能（5領域）のバランスのとれた育成～



### 4 単元計画

#### (1) スキットの系統性

1年生「好きな動物はなに」 “What animal do you like?”	重点補充表現	補充語句
A : Hello, (Vincent). B : Hello, (Tarah). I like dogs. What animal do you like? A : I like rabbits.	bear lion kangaroo monkey elephant dog cat gorilla giraffe panda zebra rabbit koala tiger horse good nice great cute I like ~. What animal do you like?	動物の名前 数 ほめ言葉 (cute, nice, good, great) 野菜 果物 形容詞 (small, long, big)



2年「動物園へ行こう」 A : Let's go to the zoo. B : Yes! I want to see pandas!. A : I want to see monkeys! B : OK, let's go!
---



中学1年生「TOTAL ENGLISH Action! 」
A : Do you like animal ?
B : Yes, I love animal.
B : I have a dog and two cats.
A : Really? I want a cat.

(2) 目標及び評価規準

観点	単元の目標	単元の評価規準	週	1	2	3	4
関心・意欲・態度	好きな動物の尋ね方、応え方にふれ、簡単な表現を用いてコミュニケーションを図ろうとする。	好きな動物の尋ね方、応え方にふれ、簡単な表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	評価機会				○
話す(発表)	リズムやイントネーションをまね、好きな動物の尋ね方、応え方を使って、話すことができる。	リズムやイントネーションをまね、好きな動物の尋ね方、応え方を使って、話すことができている。				○	
話す(やりとり)	リズムやイントネーションをまね、好きな動物の尋ね方、応え方を使って、自分の思いを伝え合うことができる。	リズムやイントネーションをまね、好きな動物の尋ね方、応え方を使って、自分の思いを伝え合うことができている。			○		
聞く	好きな動物の尋ね方、応え方にふれ、活動で用いている英語の内容を大まかに聞き取ることができる。	好きな動物の尋ね方、応え方にふれ、活動で用いている英語の内容を大まかに聞き取ることができる。		○			
気づき	動物の言い方で日本語の言い方とアクセントや発音が異なることに気づく。	動物の言い方で日本語の言い方とアクセントや発音が異なることに気づいている。		○			
読む							
書く							

(3) 指導と評価の計画

	1週	2週 (本時)	3週	4週
週の目標	<p>好きな動物の尋ね方と“I like ○○.”の言い方を聞き取ることができる。</p> <p>【聞く】</p> <p>動物の言い方で、日本語の言い方とアクセントや発音が異なることに気づく。【気づき】</p>	<p>リズムやイントネーションをまね、好きな動物の尋ね方、応え方を使って、自分の思いを伝え合うことができる。</p> <p>【話す・やりとり】</p>	<p>リズムやイントネーションをまね、好きな動物の尋ね方、応え方を使って、話すことができる。</p> <p>【話す・発表】</p>	<p>好きな動物の尋ね方、応え方にふれ、簡単な表現を用いてコミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>【関・意・態】</p>
E タ イ ム	<p>【ふれよう】</p> <p>○モデルスキット 【聞】(観察)</p> <p>○補充語句</p> <p>○ゲーム</p> <p>・ Key word ゲーム 【気】(観察)</p> <p>・ほめ言葉、形容詞</p>	<p>【慣れよう】</p> <p>○モデルスキット</p> <p>○Story Time</p> <p>○会話練習</p> <p>・ Gesture ゲーム</p>	<p>【慣れ親しもう】</p> <p>○モデルスキット</p> <p>○Story Time</p> <p>○会話練習</p> <p>・ Hint ゲーム</p> <p>・ 9月スキット野菜</p> <p>・ 10月スキットフルーツ</p>	<p>【楽しもう】</p> <p>○モデルスキット</p> <p>○ Story Time</p> <p>○会話練習</p> <p>・ Pre Small Talk ダーツ</p>
あいさつ・Song・DVD視聴				

E タ イ ム L	1. あいさつ    2. Song    3. 本時のめあてと学習の流れの確認	
	4. Practice ・モデルスキット ・補充語句(動物) (形容詞)	4. Practice ・スキット ・補充語句(いろいろな動物) (形容詞) (野菜) (果物)
	5. Joyful Time ・Gesture ゲーム 列でペアを作る。“What animal do you like?”と質問し、友達のジェスチャーを見て、動物の名前を応える。ローテーションで次の児童と会話をする。	5. Joyful Time ・Hint ゲーム 一人が動物カードを自分以外の児童が見えるように持つ。他の児童はカードを見てカードを持っている人にヒントを英語で話す。
	6. Story Time 「Brown Bear, Brown Bear, What animal do you like?」児童とやりとりしながら、読み聞かせをする。	6. Story Time 「Brown Bear, Brown Bear, What food do you like?」児童とやりとりをしながら、読み聞かせをする。
	7. Let's make animal land Game 好きな動物を集めるグループと好きな動物を尋ね、動物を渡すグループの2つに分かれる。動物を渡すグループは“What animal do you like?”と言って尋ね、その動物がいくつほしいかまで聞く。動物を集めるグループは I like ~.を使って自分が好きな動物を伝え、オリジナルのアニマルランドを作る。【話・や】(観察・パスポート)	7. Animal Lunch Menu ゲーム Animal Land にいる動物の Lunch を作る。好きなフルーツと野菜を集めるグループとフルーツと野菜を渡すグループの2つに分かれる。自分が好きなフルーツと野菜を集める。時間で役割を交代し、同様に行う。 【関・意・態】(観察) Pre -Small Talk で作った Lunch Menu を紹介しあう。 【話・発】(観察・パスポート)
8. Small Talk Time (会話を広げていく時間) グループで円になり、できあがった Animal ランドについて紹介する。発表を聞いた児童は、友達の発表した Animal Land を見て、ふさわしい形容詞でほめる。(Great, Good, Nice など)	8. プレスモールトークダーツ (思いを大切に作る・自分の思いを話す時間) グループで円になり、プレスモールトークダーツ(お題が書かれているダーツ)をする。お題(好きなフルーツ・野菜、動物など)について、一人が質問して、他の児童が応える。	
ふり返り・あいさつ		

5 本時の展開 (第2週)

(1) 目標      リズムやイントネーションをまね、好きな動物の尋ね方、応え方を使って、自分の思いを伝え合うことができる。      【話す・やりとり】

(2) 展開

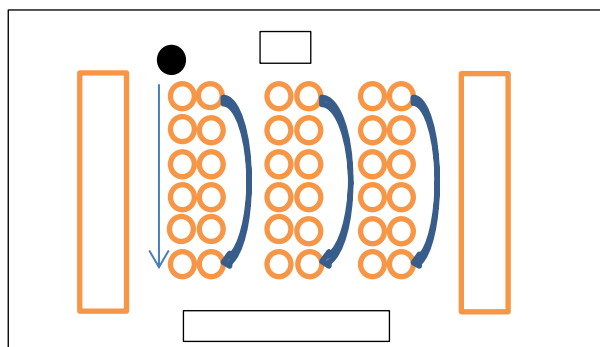
・E-タイム 第1学年4組

時間	学習活動	学習内容	指導上の留意点 (・指導【評価】)
1'	1 あいさつをする。	・あいさつ	・あいさつとともに、いくつかの質問をし、既習の内容の定着を図る。
1'	2 “Zoo Tra-la-la”を歌う。	・補充語句 ・今月の歌	・ジェスチャーをつけて、楽しみながら歌えるようにする。
1'	3 DVD を視聴する。	・スキット	・ALT の発音をしっかりとまねて、よりネイティブに近い発音練習をしている児童をほめる。
1'	4 単語や表現の練習をする。	・補充語句	・口を大きく開けて、clear voice で発音している児童を称賛する。
	5 読み聞かせを聞く。	・英語のお話 ・補充語句	・“What color?”など児童に質問し、児童とやりとりしながら読み聞かせをする。
4'	6 Gesture ゲームをする。 (場1)	・スキット ・重点補充表現	・ジェスチャーで分からないときは、“Hint please.”と言い、ヒントを出してもらうよう、促す。 ・友達の発表に対して、しっかりと感想

1'	7 本時の学習をふり返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本時のねらいに沿ったふり返り</li> </ul>	<p>を伝えるようにする。</p> <p>【話・や】リズムやイントネーションをまね、好きな動物の尋ね方、応え方を使って、自分の思いを伝え合うことができている。(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• clear voice、eye contact に気をつけて会話できていたペアを称賛する。</li> <li>• 元気にあいさつをして、終わりにする。</li> </ul>
----	---------------	--	---

• 場の設定

○は児童、HRT (●) は会話ができているかを確認し評価する



時間	学習活動	教師のかかわり		支援・指導上の留意点・【評価規準】	資料	
		H R T	A L T			
1	1 あいさつをし、学習内容を知る。 ・ Hello Ms.(Mr.)○○. ・ I'm fine, thank you. And you?	・ Let's start our English lesson now. ・ Please say "Hello" to Ms. (Mr.)○○.	○Hello everyone. ○How are you today? ○I'm fine, thank you.	・ 元気よくあいさつをし、英語活動に意欲を持たせる。		
2	2 “Zoo Tra-la-la”を楽しく歌う。	・ Let's sing “ Zoo Tra-la-la”.	○Let's enjoy singing! ○Good job.	・ ジェスチャーをつけて歌い、楽しい雰囲気をつくる。	CD	
1	3 めあての確認をする。	・ Today's point is ○○.		・ 全員で声を出して読み、本時のめあてを意識させる。		
オリジナルのアニマルランドを作って、話そう。						
5	4 好きな動物を尋ねたり、応えたりする言い方を練習する。	・ Look at these cards. ・ Repeat after Ms.(Mr.)○○○. ・ Let's practice.	○Repeat after us.	<p>【 HRT 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ALTの発音を注意深く聞きリピート練習ができるように、ゆっくりと繰り返すようにする。</li> <li>・ 絵カードと発音が一致するようにカードを提示しながら行う。</li> <li>・ 日本語と英語で言い方が違う語句を重点的に練習する。</li> </ul> <p>【ALT】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本語との発音の違いを強調する。</li> <li>・ 意図的に発音を間違えてもらい正しい理解につなげるようにする。</li> </ul>	動物などの掲示用カード	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     bear/lion/kangaroo/monkey/elephant/dog/cat/gorilla/giraffe/panda/zebra/rabbit/koala                      tiger/horse/good/nice/great/cute                      Hello (Tarah). Hello (Vincent). I like dogs. What animal do you like? I like rabbits.                 </div>						
6	5 “Animal gesture ゲーム”をする。 ・・・場1	・ Let's enjoy joyful time. ・ Let's start animal gesture game.	○Who is liar? ○Listen carefully.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジェスチャーが分からないときには“Hint please.”と言って、色や大きさなどのヒントをもらうように促す。</li> <li>・ 戸惑っている児童には、活動がスムーズに進むように声をかける。</li> <li>・ はっきりとした声で発音している児童や、大きくジェスチャーをして楽しみながら話している児童を称賛する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発音・会話表現に間違いがないか確認する。</li> <li>・ スムーズに会話ができている児童を称賛する。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ①ペアになって会話をする。                      ②A列の人が好きな動物をきく。                      ③B列の人がジェスチャーを交えて応える。                      ④当たっていたら、Yes で好きな動物を言う。                      間違っていたら、No と言って、もう一度ジェスチャーをする。                      ⑤友達の好きな動物をきいて感想を伝える。                      ⑥役割を交代して、会話を行う。                      ⑦A列の児童が一人ずつ、次の児童と会話をする。                 </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     A: What animal do you like?                      B: I like ○○. (ジェスチャー)                      A: ○○?                      B: Yes. I like ○○.                      A: Nice.                 </div>						
4	6 “Brown Bear, Brown Bear, What animal do you like?”の読み聞かせを聞く。	・ Sit down please. ・ Let's enjoy “Story Time”.	○Listen carefully.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジェスチャーを入れたり、子どもたちに英語で質問し、やりとりのある読み聞かせをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HRTと役割分担して、読み聞かせをする。</li> </ul>	絵本

14	7 「Let's make animal landゲーム」をする ・・・場2	<ul style="list-style-type: none"> <li>Next, "Let's make animal land Game".</li> <li>Please watch the demonstration</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Do you understand?</li> <li>Are you ready?</li> <li>Watch carefully.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デモンストレーションでB役となり、好きな動物の集め方、カードの貼り方を示す。</li> <li>それぞれのコーナーを見て回り、会話を促す。</li> <li>戸惑っている児童がいたらゆっくり発音しリピートさせるようにする。</li> <li>文型を全て言うことが難しい児童には、重要語句のみでもよいことを伝える。</li> <li>交代の際は、手拍子で知らせる。</li> </ul> <p>・相手意識をもった会話（リピート・場に応じた質問・アイコンタクト等）ができていない児童を称賛し、全体に広める。</p> <p>【話・や】リズムやイントネーションをまね、好きな動物の尋ね方、応え方を使って、自分の思いを伝え合うことができている。（観察）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デモンストレーションでは、A役をやってもらい、動物を渡す人の尋ね方や、やりとりのしかたを示す。</li> <li>ゲームでは、各グループを回ってもらい戸惑っている児童がいたらゆっくり発音しリピートさせてもらう。</li> </ul> <p>机 児童 用ボ ード 動物 マグ ネット</p>
6	8 Pre Small Talk Time ・・・場3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Let's start our story time.</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>HRTとALTのやりとりと聞かせ、話す内容を確認させる。</li> <li>各グループを見回って、一緒になって聞いたり、褒め言葉を言ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HRTと同様、グループを見回り、一緒になって聞いたり、褒め言葉を言ったりする。</li> </ul>
5	9 本時のふり返りをする。  ふり返りカードを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Please check your E-time Passport.</li> <li>Everyone nice try!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Everyone good job!</li> <li>Eye contact</li> <li>Very good!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあてに対してのふり返りがその子なりに記入できている児童に発表してもらう。</li> <li>めあてに沿って活動できたことを称賛する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体を通してめあてに対しての称賛をしてもらう。</li> </ul> <p>E-タイ ムパス ポート</p>
1	10 終わりのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Please say "Thank you".</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Good-bye.</li> <li>See you.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と握手やハイタッチなどを交わして、楽しい雰囲気の中で活動を終える。</li> </ul>	

- ①好きな動物を集めるグループ(B)と尋ねるグループ(A)に分かれる。
- ②動物を尋ねるグループは好きな動物をさく。
- ③(A)は自分が好きな動物と数を伝える。
- ④動物を渡す。ない場合、(B)は"I'm sorry."と言う。
- ⑤動物を自分のアニマルランドボードに飾る。
- ⑥時間で役割を交代し、同様に行う。

A: What animal do you like?  
 B: I like ○○  
 A: ○○?  
 B: Yes.  
 A: 1? 2? 3?  
 B: 2○○, please.  
 A: OK, here you are.  
 B: Thank you.  
 A: You are welcome.

A: What animal do you like?  
 B: I like ○○. I like ○○.  
 It's Smile animal land.

〈期待するふり返し〉

- ・好きな動物をきちんと伝えられました。
- ・アニマルランドで自分の気持ちを言うことができました。
- ・友達にほめ言葉を言えました。

・場の設定

場1 Animal gesture game

場2 Let's make animal land game

場3 Pre Small Talk

○ = 児童    😊 = HRT、ALT    — = グループ列

